

第3種 古平漁港 (北海道古平町)

古平地域マリンビジョン策定

ふるびら 古平地区特定漁港漁場整備事業計画

余市積丹圏域
流通拠点



現状と課題

- ・大規模地震発生時における漁港利用者の安全確保が課題である。
- ・大型定置網に対応した屋根付き岸壁がないことから、野天での陸揚げ作業を強いられおり、直射日光による鮮度低下などが懸念されている。
- ・港内泊地を利用した磯根資源の蓄養において、漁船利用との輻輳が生じており、非効率で危険な作業を強いられている。

港勢 (H28港勢調査)

登録漁船:89隻
利用漁船:165隻
(内、外来漁船:87隻)
属地陸揚量:3,832トン
属地陸揚金額:15.9億円
主な魚種:ホッケ、スケトウダラ
組合員数:86人

◎古平漁港の役割

- ・ホッケ・スケトウダラ・カレイ刺網、エビかご、タコいさりなどの沿岸漁業のほか、道内外イカ釣り漁船の陸揚げ基地となっている流通拠点

主要対策



主な整備方針

- ・大規模災害時の緊急物資等の輸送機能の確保及び水産業の早期再開のため、耐震強化岸壁等の整備を行う。
- ・大型定置網や刺網を含めた総合的な衛生管理体制の強化を図るため、屋根付き岸壁等の整備を行う。
- ・ウニ・ナマコ等の磯根資源を対象に、出荷調整による安定的な生産を可能とする蓄養水面の整備を行う。

基本事項

全体事業費:38.8億円
事業期間:H28~R7

主要な対策①: 防災対策



巡視船による防災訓練実施状況



緊急物資輸送状況(イメージ)

主要な対策②: 衛生管理対策



野天での陸揚げ状況



クレーンによる陸揚げ作業状況
(他漁港の事例)